

Mizuho Daily Market Report

2024/8/12

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.19	146.61	▲0.62	+0.08
EUR	1.0923	1.0917	▲0.0002	+0.0006
AUD	0.6593	0.6578	▲0.0015	+0.0067
SGD	1.3233	1.3239	▲0.0017	▲0.0029
CNY	7.1745	7.1683	▲0.0080	▲0.0039
MYR	4.4290	4.4240	▲0.0490	▲0.0730
THB	35.27	35.29	▲0.08	▲0.07
IDR	15929	15925	+30	▲275
PHP	57.27	57.29	▲0.04	▲0.81
INR	83.95	83.96	▲0.01	+0.21
VND	25118	25109	▲37	▲110

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.940%	▲4.8 bp	+14.9 bp
日本(10年)	0.853%	+0.3 bp	▲9.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.225%	▲4.3 bp	+5.1 bp
オーストラリア(5年)	3.704%	+0.5 bp	▲0.4 bp
シンガポール(5年)	2.773%	+0.0 bp	+5.8 bp
中国(5年)	1.879%	+2.3 bp	+4.7 bp
マレーシア(5年)	3.500%	+0.6 bp	+0.2 bp
タイ(5年)	2.329%	▲0.5 bp	+2.7 bp
インドネシア(5年)	6.624%	+0.2 bp	▲7.8 bp
フィリピン(5年)	5.991%	+0.0 bp	+2.0 bp
インド(5年)	6.812%	+0.0 bp	▲0.8 bp
ベトナム(5年)	2.100%	+0.0 bp	▲1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,497.54	+0.1%	▲0.6%
N225(日本)	35,025.00	+0.6%	▲2.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,675.28	+0.1%	+0.8%
ASX(オーストラリア)	4,465.04	+0.3%	▲0.2%
FTSE(シンガポール)	3,261.83	+0.0%	▲3.5%
SSEC(中国)	2,862.19	▲0.3%	▲1.5%
SENSEX(インド)	79,705.91	+1.0%	▲1.6%
JKSE(インドネシア)	7,257.00	+0.9%	▲0.7%
KLSE(マレーシア)	1,596.05	+0.4%	▲0.9%
PSE(フィリピン)	6,647.80	+1.5%	+0.6%
SETI(タイ)	1,297.07	+0.1%	▲1.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,223.64	+1.3%	▲1.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	275.96	+0.7%	+2.2%
金	2,431.32	+0.2%	▲0.5%
原油(WTI)	76.84	+0.9%	+4.5%
銅	8,747.28	+0.9%	▲2.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.60	—	147.80
EUR/USD	1.0850	—	1.0990
AUD/USD	0.6385	—	0.6680
USD/SGD	1.3160	—	1.3380
USD/CNY	7.1260	—	7.1890
USD/INR	4.4300	—	4.5030
USD/THB	35.00	—	36.65
USD/IDR	15800	—	16350
USD/PHP	56.80	—	58.70
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台半ばでオープン。東京の三連休を前にした輸出勢の実需の売りフローもあってか、ややドル売り優勢の展開に。午後には一時146円台後半まで下落したが、引けにかけては147円台まで値を戻し、147円台前半で欧州に渡った。アジア通貨は総じて堅調。前日に公表された予想を下回る米新規失業保険申請件数を受けて米景気後退懸念が和らぎ、過度な米利下げ観測が修正された。

海外市場のドル円は147円台でNYオープン。米経済指標など材料がない中、上昇していた米金利が低下する動きに追随し、146円台前半まで下落する。その後は売り一巡となり、146円台半ばまで戻す。午後は週末を控え、146円台半ばで動意乏しい推移が続き、そのままの水準でクローズ。

【金利】

前営業日の米金利市場は、米10年債利回りが低下する一方で、米2年債利回りが小幅上昇しフラットニング。週初から高まっていた米国経済見直しに対する懸念が一服し、市場の注目は来週発表される米インフレ指標にシフトしている。

【予想】

本日のドル円は横ばいを予想。東京休日となるほか、米指標も目立ったものがなく材料に乏しいこともあり、値動きとしては限定的になるものと思われる。また、14日に米7月消費者物価指数を控えているため、様子見色が高まりそうだ。一方で、市場の米利下げ織込みは9月が1.5回、年末までにおよそ4回を既に織り込んでいることもあり、米7月消費者物価指数が市場予想から乖離すれば、値動きが大きくなるリスクにも留意が必要となりそうだ。

【本日の予定】

(日本) 休場
(日本) 日航機墜落事故39年
(アジア) 6月 インド 鉱工業生産
(アジア) 7月 インド CPI
(アジア) 7月 インド 貿易収支
(アジア) 休場 タイ
(欧州) 6月 独 経常収支
(欧州) 7月 愛 建設業PMI
(米国) 7月 NY連銀1年インフレ期待
(米国) 7月 月次財政収支

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。